



# ツチイナゴ

## 《ご挨拶》

代表 山田陽治

ふるさと侍従川に親しむ会も設立から20年という節目で、相川前会長からバトンを受け継ぎ、この度山田が代表となりました。甚だ不安ではありますが、皆さまよろしくお願ひします。

侍従会が設立されて20年たったわけですが、この20年間で、侍従川にかつてのような自然環境が戻り、子どもから大人までのコミュニティが出来、地域の“ふるさと”が侍従会の活動から生まれたと実感しています。これもひとえに前会長を始めとする今まで侍従会の活動にご助力いただいた皆さま方のおかげだと思ひます。また、今までの活動で若者も育ってきて、会の運営にも携わってくれるなど、大変喜ばしい限りです。

まだクリアできてない課題はありますが、これからの20年でさらに、ふるさとの川…そして、侍従会の設立時からのスローガンである「子どもたちがもう一度遊べる川に」今以上になるように邁進していきたくと思ひます。

堅苦しい挨拶となりましたが、これからもみんなが“楽しい”活動をしていきたくと思ひます。どうかよろしくお願ひします。

(編集部注:「私が子どもだった頃」は、お休みします。)

ツチイナゴ (土蝗)

学名: *Patanga japonica*

体長: 7センチ。

関東地方から沖縄にかけて分布。トノサマバッタに次いで大きなバッタで、模様がお洒落。成虫で冬を越すことができ、他のバッタが卵から生まれる春先でも立派な成虫が見られる。

幼虫は鮮やかな緑色をしていてアライン模様可愛らしい。沖縄ではときおり大発生して農作物に被害をもたらす。

解説: 熊井健



## 9月定例クリーンアップ

【活動報告1】

9月22日(日) 9:00~11:30 晴れ 28℃

青木橋~上流100m(草刈)、源流域~二の橋(清掃)

細川一雄

参加者：長橋輝明、西澤博厚、村田章夫、八木場紀元、角田繁、関場俊子、寺尾勝廣、山田陽治、平山康弘、長崎光則(中1年生)、金澤瑛士(6年生)、高橋一太(4年生)、細川一雄(計13名)

「暑さ寒さも彼岸まで」といわれている彼岸の日の作業となりましたが、今年の猛暑の影響かまだ少し暑く湿度の高い日でした。今年草刈り作業が進まないため、今回は大人のパワーを草刈り作業に集中するべく上流部のゴミ拾いを山田さんと子供達にお願いし、大人たちはカマとゴミ袋を持って草刈り作業に向かいました。

この区間は刈り取る草の位置が高く、長い間前屈みの姿勢をとる必要が無いので、下流よりは多少作業が楽でした。草を刈る者、刈った草を束ねる者と自然に作業を分担・交代し、30分毎に休憩を入れ体力の消耗を防ぎながら上流へ上流へと作業が進みます。

11時過ぎに上流の清掃グループが作業を終了し下りてくるとの連絡がありましたので、草刈りグループも刈り取った草を束ねて護岸に立てかけて作業を終了しました。その後ゴミを拾いながらちとせ園まで下り、ちとせ園前の草を刈り取って本日の作業を終了しました。

終了後、「流域連携よこはま」の平山さんから9月28日に開催予定の「侍従川でヨシの植栽大作戦」の話と応援依頼がありました。草刈りグループのメンバーに参加をお願いして作業を終了しました。が、秋といえば秋刀魚です！今年も恒例の秋刀魚パーティをちとせ園で開催し、楽しいひと時を過ごし解散しました。

### <追記>

10年に1回の超大型台風26号(中心気圧：930hpa、最大風速：45m/s、最大瞬間風速：65m/s)が関東地方に接近してきました。先月草刈りを行い、乾いてから上げるつもりで護岸に立てかけて置いた草が流され、途中で絡まって川が溢水する可能性がありましたので、10月14日に急遽外川さんと村田さんに連絡して刈り草を岸に上げる作業を行いました。



青木橋下流の草刈り



刈り取った草を束ね護岸に立て掛けて乾燥



青木橋上流の草刈り



回収した7袋分のゴミ(ゴルフクラブが1本)



引き揚げた草とパレット

青木橋まで草を移動し、すっかり軽くなった刈り草を引き上げてトラックに積み込みます。乾いて軽くなったのはいいのですが逆に草が硬くなり、いつもなら8束位無理やり押し込んで積めるのですが、今回はいくら押し込んで束が跳ね返ってくるため5束くらいでトラックが一杯になり、何度も外川さんに往復してもらいました。最後に竹箒で橋の上を掃除し、ちとせ園に引き揚げました。

途中、先月から加倉橋の下に廃棄されていた大きなパレット(当日行ったら2個に増えていました)をロープで縛って引き上げました。また、今年も加倉橋の下の銀杏を誰かが拾って皮を橋の下の土の上に捨ててありました。糞のような臭いが周りに立ちこめていました。毎年誰が拾っているかわかりませんが、皮はせめて川の中に戻してくれれば臭いはしないし、カルガモが食べる事が出来るのに残念です。

最後にちとせ園の前に置いてあった水草を引き上げ作業を終了しました。写真を撮りに県営住宅跡地に行くと不法投棄されたチャイルドシート、扇風機などの大型ゴミがありました。その下にいくつかの土嚢袋(9月28日に行った植栽活動の際に拾ったものと思われます)が回収されずに置かれていました。(回収依頼の連絡はした様ですが、区役所の担当者が回収指示を忘れたようです。)

パレットや大型ゴミなど、どうもモラルを疑うような物がゴミとして出てきます。今にも降りそうな空模様でしたので早々に家に帰りました。案の定家について暫くすると雨がポツリポツリと降ってきました。



不法投棄されたチャイルドシート、扇風機他



加倉橋下のパレット



加倉橋下の銀杏の皮

## ハゼ釣り大会 in 侍従川

10月6日(日) 9:00~

【活動報告2】

二宮咲子

私は今回、初めて侍従川のイベントに参加しました。

集合は朝の9時に大道小学校、皆さんには馴染み深いご近所ですね。

ところが私が家を出たのは、早朝の6時でした！私が現在住んでいるのは、東京の西の端っこ、八王子なのです。それでも侍従会の皆さんと一緒に侍従川に行けるということが、私にとっては何より魅力的でした。

しかも初めてのハゼ釣り。竹で出来た釣竿や糸、針、餌、そして仕掛けの付け方も、山田さんや寺尾さんに教わる事ができて、いざ侍従川へ！

次々と聞こえてくるのは、子どもたちの「釣れた！」という楽しそうな声。下流のポイントでは私は1匹しか釣れませんでした。とほほ。

その後、中流へと移動。侍従川を眺めながら初めて会う人たちとも話をしたり、荷物を持ち合ったりする和やかな侍従会の皆さんと一緒に、秋晴れの空の下を歩いていきました。さて中流で私たちは、15cm ぐらいのハゼを get!!

「スゴイ! スゴイ!」と集まってきたのは、侍従会の少年たちと佐野さんでした。

まず、ぱっと手に乗せて、これはウロハゼということを見せてくれました。どうしてわかるの? と聞くと、持った感じで何となく・・・と。そして、デカイ! 凄い! と盛り上がり記念写真をパチリ。

釣った本人たちはスゴさが分からずに、皆さんが喜んでいっているのを見て、なんとなく喜ぶといった感じでした。侍従会の皆さんは、これまでにたくさん侍従川の魚を見てきたから、これが最大級のサイズだと分かるのですね。しかも、ウロハゼはもっと南の方にいた魚で、侍従川に見られるようになったのは、ここ5年の間とのことも佐野さんから教わりました。

そして最後に、釣り上げたハゼを次々と包丁でさばき、天ぷらにする少年少女たちの大人顔負けの手際よさ。

中学生は小学生を気遣い、小学生は更に小さな子どもたちの面倒をみる・・・最後までとても気持ちのよい、楽しい時間を過ごすことができました。

初めてのハゼ釣り、1匹しかつれなかったのに、こんなにも楽しかった! と思えるのは、侍従会の皆さんのお陰です。

私は今年の4月に関東学院大学に着任しました。侍従川下流に位置するキャンパスで環境学(自然共生社会論)の研究・教育活動を行っています。これからもどうぞよろしくお願いします。



# 10月定例クリーンアップ

【活動報告3】

10月27日(日) 9:00~12:00 晴れ 20℃

青木橋上流~里野橋(草刈) 源流域~大道東橋(清掃) 細川一雄

参加者：長野政治、西澤博厚、八木場紀元、関場俊子、高木之靖、石渡博、鳥越昌三、鳥越珠貴(7歳)、鳥越龍(5歳)、佐野真吾、深沢大地(中1年生)、高橋一太(4年生)、細川一雄、関東学院大学 人間環境デザイン学科：二宮咲子先生、金田晴美 TA、清水真紀子、千葉裕、池ノ上未紅、内野成、奥村美奈子、木下祐摩、暮林周人、篠田佳幸、島野悟、進藤楓、蛸井峻太、望月優祐(計27名)

めっきり秋らしくなり、ちとせ園にも桜の落ち葉が目立ち始めた当日、山田さんの紹介で関東学院大学 人間環境デザイン科の二宮先生と金田先生が十数名の学生を引率して授業の一環として参加してくれました。また鳥越さん一家が先月に続いて参加してくれて久しぶりにちとせ園が賑やかになりました。予め学生さん達は4班に分けてあるとの事でしたので、1班は子供達と一緒に大道東橋から大道橋間の清掃、2班と3班は青木橋上流の草刈り、4班は私と一緒に源流域から大道橋までの清掃と一部草刈りに分担を分けて出発しました。



源流域の清掃 (関東学院の学生さん)

源流域は夏の間すっかり蔦や草が伸び原生林の様な状態になっていましたが、手の届く範囲の蔦を切り日光が当たるようにし、伸びすぎた草は刈り取りながら下流に進み、環状4号線の暗渠をくぐり抜けたところで一休みします。しばらく休んだ後、下流に向かって進むと先月金沢区役所経由で金沢土木事務所をお願いしていたセブンイレブン裏の草刈りが行われていて綺麗になっていました。また、耕地橋のポスターも設置してもらった効果か耕地橋の下のゴミが少なくなっていました。



セブンイレブン裏と刈り取った草

重くなったゴミ袋を持って里野橋まで下り草刈りグループと合流しました。学生さん達は11時から授業が有るとの事でしたので、急いでちとせ園に戻り、侍従会のメンバーは川に戻り草刈り作業を続行し、12時過ぎに作業を終わりました。今回手伝っていただいた関東学院の皆様、有難う御座いました。



里の橋下流の刈り草 (護岸に立てて乾かします)



回収した15袋分のゴミと大道橋のシラサギ

## 11月定例クリーンアップ

【活動報告4】

11月24日(日) 9:00~12:00 晴れ 15℃

里野橋~朝比奈橋(草刈)、源流域~大道東橋(清掃)

細川一雄

参加者：長野政治、長橋輝明、西澤博厚、八木場紀元、関場俊子、村田章夫、角田繁、鳥越昌三、鳥越珠貴(7歳)、鳥越龍(5歳)、小山浩司、小山光希(馬場小3年)、小山朝陽(馬場小1年)、今井康祥、今井幸子、今井翔太(獅子ヶ谷小2年)、今井はるか(年中さん)、山田陽治、深沢大地(久木中1年)、金沢瑛土(高舟台小6年)、金沢喜乃(高舟台小3年)、細川一雄(計22名)

秋も深まりもうすぐ厳しい冬が訪れますが当日は少し暖かく小春日和に近い陽気になりました。いつもの草刈りメンバーがちとせ園に集合し上流部分(里野橋~朝比奈橋間)の草刈りに出発します。

今回の草刈りで上流部分は全て1回草刈りを実施した事になります(大道橋上流は2回実施)。出発間際に集まった山田さん達には下流域の清掃をお願いし、源流部分の清掃に2名、横兵屋横の草刈りに2名を割り当てました。

草もすっかり水気を失っていて刈り取った草も軽く作業がはかどります。ブックオフの横に倒れていた夾竹桃の木を八木場さんが小さな鋸で一生懸命切ってくれました。また、地藏橋横の大きな木の枝が川に垂れていた部分を同じく間引きしてくれました。他のメンバーも夏の作業と違ってスムーズに進みます。

途中休憩をして、最後の朝比奈橋まで草を刈る事が出来ました。生憎今回も防災訓練のため車が手配できず、草を束ねて護岸の上に置いておきました。2か月分の草が溜まってしまいましたので、後日引き揚げようと思います。

作業を終わってちとせ園に着くと、下流域の掃除を行っていた子供達が川で財布と免許証を拾ったとのことで、大道交番に届けました。財布にはお金は入っていませんでしたが、4,5日前に盗まれた様です。



落ちていたゴミと地藏前橋下流の草刈り



地藏前橋下流の草刈り



回収した12袋分のゴミ



大道小学校に置いてあった葦舟の解体作業

## 冬の森たんけん

12月8日(日) 9:00~

【活動報告5】

島村眞依

12月8日に森探検がおこなわれました。気温は低かったものの、天気は良く、風も強くなかったので森探検日和になりました。参加者は未就学児3名、小学生7名、中学生2名、大学生1名、大人(スタッフ含む)6名の計19名でした。

コースは大道小学校→朝夷奈切り通し→三郎の滝→十二所果樹園→熊野神社→朝比奈町→大道小学校でした。

アリジゴク観察から始まり、アオキの実を飛ばしたり、水生生物探しをしたり、竹で笛や弓矢を作ったりと様々なことをしながら皆で山を歩きました。もちろん、山田さん特製のターザンも登場しました。

生き物探し、竹弓矢、ターザンが今年の人気トップ3でみんなが特に熱中していました。また、生き物を探していると「何がいるの?」と聞かれ、竹笛を作っていたら「あら、いいわね」と言ってもらうなど、山に来た人との交流も多かったと感じました。

今日の森探検は、たくさん歩いて疲れたはずなのになぜか元気になって帰路につくことができました。それは、朝比奈の山や侍従会の人たちからパワーをもらったからだと思います。最近、忙しくてなかなか会に参加できずにいましたが、久しぶりに参加し「侍従会ってやっぱりいいなー」と感じる事ができました。今後の侍従会の活動も積極的に参加したいと思います。



### トピックス(1)

9/4(水) 大道小学校3年生に侍従川のレクチャー…佐野が対応

9/6(金) 大道小学校 侍従川清掃 (9/5 が大雨洪水警報の為 9/6 に実施)

9/9(月) 六浦小学校3年生 侍従川で生き物調べ…細川、山田が対応

9/11(水) 大道小学校3年生 侍従川探検

9/14(土) ハゼ釣り大会 雨天中止 (10/6 に延期実施)

9/18(水) 大道小学校3年生 侍従川探検、侍従川のレクチャー…佐野が対応

9/20(金) 大道小学校1年生 大道小とんぼ池の質問会…山田が対応

高舟台小学校5年生 侍従川下流域の生き物調べ…相川、細川、山田が対応

琉球生き物紀行 ～美ら島の生き物たち～  
～ オキナワトラフハナムグリ ～ (コガネムシ科)

学名 : *Paratrichius duplicatus*

体長 : 10～14ミリ

分布 : 沖縄本島、久米島、奄美大島

沖縄島の北部「やんばる」に春の訪れを告げる美しいコガネムシの仲間、まだ寒さの残る、3月中旬イタジイの花などの蜜や花粉を食べに訪れ、アブなどと一緒に飛び交っているのを観察できます。

名前からして大きそうなイメージがありますが、実際は1センチ程のおおきさです。模様には様々なものがあり、大体は赤みを帯びていますが、稀に全身真っ黒なものもいたりします。



メス



全身真っ黒な個体

監修 : 熊井 (沖縄在住)

(編集部注 : 侍従川生き物図鑑は、しばらくの間お休みします。)

トピックス(2)

9/24(火) 高舟台小学校5年生 侍従川中流域の生き物調べ・細川、佐野、山田が対応

9/25(水) 高舟台小学校5年生 侍従川についての質問会・佐野が対応

9/28(土) HSBC Water Programme - River Basins in Yokohama 《ヨコハマの都市河川を味わい尽くそう vol.2》  
～侍従川でアシの植栽大作戦&E ボート体験～ (流域連携よこはま・ふるさと侍従川に親しむ会 共催 HSBC 協賛) を



侍従川及び野島で実施・長橋、村田、八木場、角田、寺尾、佐野、山田が対応

10/13(日) 東京都虹の下水道館“やまだようじさんと楽しくおしゃべり!!”で侍従川の話・山田が対応



大道ふれあい  
むかし資料館

10月に

Open

しました。

10月5日の大道小学校創立70周年に合わせてリニューアルオープンしました。エアコンも完備した地域交流室として機能していきます。これからもトンボ池同様よろしくお願ひします。館内入口は、トンボ池の水車の前です。階段を上がってスリッパにはき替えてお入りください。



生活の部屋



しごとの部屋

収蔵庫

約1000点の収蔵物があります。



1月・2月・3月の開館予定日

開館時間10:00~12:00

開館予定日	同日開催行事
1月25日(土)	
2月15日(土)	地域の歴史(13:00~)
3月15日(土)	地域の歴史(13:00~)

来てね



トピックス(3)

11/11(月) 高舟台小学校5年生 侍従川調べのアドバイス…山田が対応

11/15(金) JRRN (日本河川・流域再生ネットワーク) 関係者 (和田氏、坂本氏) が侍従川を視察及びヒアリング…佐野、山田が対応

11/19(火) 六浦小学校3年生 侍従川についての質問会&給食交歓会…相川、細川、佐野、山田が対応

パタゴニア・ベイサイド・アウトレットから《V.Y.C》(ヴォイス.ユア.チョイス) …来店客の投票で、助成金額が決まる…で、助成決定しました。

## 佐野真吾が語る侍従会の思い出 ～タクマ再来～

2003年8月、私は高校1年生の夏休みを過ごしていました。そんなある日、家のインターホンが鳴り、祖母が出たらしくバタバタ足音がしてすぐに「真吾！友達よ！」という声が聞こえました。「誰？」「よく聞き取れなかったんだけど金髪の子よ？知り合い？」「はあ？キンパツ？誰だあ？」キンパツの友達で家に訪ねてくるようなやつっていたかなあ？と思いながら私は表に出ました。

すると玄関に見覚えはあるものの、大きく変貌を遂げた男が立っていました。「よお佐野くん久しぶり！」「たっ…タクマ！？なんだそりゃ！？」

中学時代坊主頭だった彼の髪の毛は逆立ち金髪になり、耳にはピアス、ダボダボのズボンを履き、いわゆるヤンキーファッションでした。

説明が遅れましたが“タクマ”とは中学生時代の同級生で、侍従会で一緒に活動した仲間でした。しかし、中学2年生の終わりに鹿児島に引っ越すことになり感動(?)のお別れから1年半が経過していたのです。

「ヤマダさんが侍従会の野外教室の準備で魚とりするんだって！行こうぜ！」「お…おう…」風貌の変化とは裏腹に1年半のブランクをまったく思わせないほど自然に魚とりを誘われ、戸惑ったのは私の方でした。

その後、山田さんによって召集された学生部(侍従川)で魚とりをしました。この日のノルマはウナギとアユで、当時鍛えられていた学生部は採れるまで終われないというスピレタっぷりでした。結局ウナギとアユが採れたかはあまり記憶にありませんが、その日、夕方には解散して翌日の野外教室を向かえました。

翌日、野外教室のことは正直あまりよく覚えていませんが、最後の片づけまで残っていたのは山田さんとタクマ、そして中学生の後輩たちだけでした。中学時代共に青春時代を過ごした先輩たちもこの時はすでに高校3年生かそれ以上です。時々手伝いに来てはくれましたが、皆それぞれ仕事やアルバイトをしていて来れなかったり途中で帰ってしまうことが多くなっていました。

年齢が上がると自然とそうなるものですよ。もちろんまた少し大人になると戻ってくる人も現れますが、高校生くらいの年頃とはそういうものです。野外教室の片づけを終えて、山田さん、タクマ、当時中学生のワタルらと一緒にラーメンを食べました。

「おまえらあんまり悪いことすんじゃねーぞ！じゃあな！（タクマ）」「はい！タクマさんもお元気で！（後輩たち）」「おまえ偉そうだな！笑（私）」「…」。

後輩の前だとやたら偉そうなタクマにツッコミを挟みつつその日は解散となりました。



しかし、私とタクマはその後も二人で夜道を歩きながら夜中まで語り合いました。高校生になると中学生の時と比べていろいろなことが自由になります。そして少し大人になった気分で格好をつけてみたり、世の中に反抗してみたり、何でも思い通りになるような気がしたりしますよね。タクマだけじゃなくて、かく言う私もそうでした。私についてのお話は次号で詳しく書きたいと思いますが、この日の夜は二人でそんな気分になりながら町を徘徊したのです。

「佐野くん、俺はしばらく横浜には帰れないと思うからさ！山田さんのこと頼むよ！」  
「偉そうに！笑 山田さんは他の人になんかオーラがある人だから大丈夫だよ！」「俺、山田さんには世話になったんだよ…」「そうだなあ〜」そんな話をしているうちに私の自宅の前までやってきてしまいました。

「タクマ！またいつでも来いよ！そのうち横浜に帰ってくればいいじゃん！」「ああそのつもりだよ！…じゃあまたね佐野くん！」「おうまた！」

あれから10年が経ちます。あの日を最後にタクマとは会っていません。その後何度か電話では話しましたが、ここ数年は連絡が取れず、当会報で彼のことを書く上でインタビューをしようと思ったのですが仲間たちを当たっても連絡が付けられませんでした。とは言ってもいつでも会おうと思えば会えると思っていることが大切です。お互い大人になったので、気長に再開を楽しみにしていようと思っています。

『佐野真吾が語る侍従会の思い出』 つづく

## 朝夷奈の森通信 ~森の忍者より~ 飯村優介

今秋、10月半ばまでは高温で周辺の森キノコが不作。山梨の800m位の山に遠足して見事なホウキタケをとる。下草の少ないコナラや赤松混じりの尾根に。50年前位は大道近くでもみられたかもしれません。

10月半ばからは、雨と秋風でよくなり、野島のクロマツのキノコもいい出来で、食用の写真は左からアカハツ、チチアワタケ、シヨウロ。毒の写真はテングタケです。

天然エノキタケは11月上旬のウィーン森にて、こちらの森ではこれから増える季節です。



ホウキタケ



食用



毒



天然エノキタケ



## 虫のきょういく座談会 ～自然体験が生んだ伝説の少女～



参加者：山田・中田・佐野

10月のある日、佐野は杉田駅で一人の女性と待ち合わせをしていた。待つこと数分、一人の女性が手を振りながらやってきた。彼女の名前は中田安美氏、佐野の同級生である。侍従川流域で育ち、兄君は佐野が学生部時代に遊んでもらったナカダくん。現在は小学校で図工の先生としてご活躍されている。

佐野「山田さん遅れるって！ 湿地に落ちてグチャグチャだから着替えてから行くってさ！」

中田「なんじゃそれ！！笑」

とりあえず近くのガストに入って山田氏を待つことにした。本日は山田・中田・佐野の3人で食事をする予定である。

佐野「山田さんと会うのは久しぶり？」

中田「2、3年前に一度駅で会ったかなあ～」

中田氏は小学生時代から山田氏によく遊んでもらったそうだ。また、当時のウォークラリーや子ども会議にも参加している。何を隠そう10数年前、「生きものを飼うことは良いことか？ 悪いことか？」というテーマでおこなわれた子ども会議に現れ、究極の意見を叩きつけ100人以上の参加者を一蹴したという伝説の少女こそ、当時中学1年生だった中田安美氏なのである。

中田「いやいやその話はもうやめてよ！笑 恥ずかしいっすよお！笑」

佐野「子ども会議もそうだけど、先日尾上先生にナギさん（中田氏のあだ名）の話をしてらよく覚えてたよ！「小学校1年生で俺のことジジイって呼んでたよ！笑」って言ったよ！笑」

中田「ジジイじゃないよ！“尾上ジイ”だよ！そう呼べって言われたんだもん！尾上先生に会いたいなあ！担任でもないし私が入学して1、2年で転任しちゃったのに凄く記憶に残ってるんだよねえ！」

そんな話をしているとようやく山田氏が到着した。

山田「おお～ヤッピー（中田氏のあだ名）久しぶり～☆ 変わんないねえ～☆」

こうして、山田氏と中田氏は10数年前の思い出話を語り出した。佐野は今回の座談会のネタにしようと必死でヒアリングを試みたが、序盤はくだらない話がほとんどでまった

く参考にならなかった…。

山田「昔ヤッピーがニヤニヤしながら握手を求めてきて、握手したら「あくしゅ～（握手＝悪臭）」って言いながら凄く嬉しそうに去っていったよね！笑」

というような、どうしようもなくくだらない話である…。他にも釣りに行った話や侍従川の泥牛橋から山田氏が中田氏を下ろそうと持ち上げて腰を痛めた話、竹笛で遊んだ話など出たが、やはりネタとしてはイマイチであった。しかし、そんな中出た中田氏の発言が、話題を教育的核心へと急展開させた！

中田「あああと！ よく覚えてるのは、やまさんが犬のウンコを踏んで転んで、足がウンコまみれになったの覚えてる！！☆笑 確かあれは秘密基地を作りに行った時かなあ☆」

中田氏は一人爆笑しながら思い出を語っていたが、突然思い出したように話題を変えた。

中田「あっ！ そういえばこの前、学校の授業でそれを題材にしたんだ！！」

山田「え？ ウンコを題材に？」

中田「違うわ！！笑 秘密基地の方だよ！笑 図工の時間に子どもたちにミニ秘密基地を造らせたんだ！！」

佐野「おおそれは面白そうだねえ☆」

中田「秘密基地を授業でやろうって思い立ったのもあの時の記憶が影響してるのかもしれないねえ～！ 大人になって思い返すと子どもの頃の記憶って自然の中で遊んだ記憶がほとんどなんだよね☆ 別にそういう遊びばかりしていたわけじゃないのに、記憶として残っているのはやまさんとか尾上先生と遊んだことなんだよね☆」

佐野「なんか凄くイイ話になってきたんじゃないですか！？☆笑 自然体験が子どもに与える影響の大きさ！ みたいなの？笑」

山田「それに加え自然と人との関わり合いっていうのもあるよね！」

中田「まあ佐野くんとかやまさんみたいに自分は今直接そういう活動はしてないから何とも言えないけど、大きな思い出になってるのは確かかな☆」



佐野「自然を通して学ぶ人との繋がり！ いいまとめだね☆」

山田「まあ俺たちはそれだけじゃなくて、人との繋がりから自然も学ぶんだけどね！」

すばらしいまとめである。中田氏のウンコ話…いや、秘密基地の話から環境教育的な話に発展したのは実にすばらしい。ところが、熱くなっている山田・佐野コンビとは裏腹に、中田氏はそろそろご就寝の時間が近いようで、先ほどから人目もはばからず大あくびを連発している。

中田「見たなあ～～！！」

佐野「隠す気ないじゃん！笑 でもまあ確かにもう11時半か！」

中田「普段ならもう寝てるよ！ 明日は休みだからゆっくり寝よ～」

こうして一同は帰路に着いたのである。伝説の少女中田氏はそのうち侍従会に遊びに来てくれるそうなので皆さんお楽しみに☆

(おわり)

### 生き物発見記録

① 10/10(木) 朝比奈小学校のビオトープでリスアカネを初発見

現在侍従川流域では確実に見られる産地はありません。

② 10/27(日) 侍従川二の橋付近の路上でナツアカネを発見

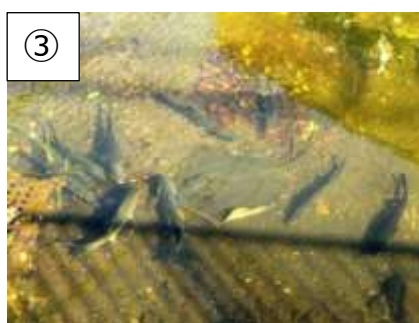
侍従川流域で現在生息地はないので、台風によって何処からか飛ばされてきたのかもしれない。

③ 11/27(水) 侍従川諏訪の橋付近で2メートル級のアカエイとそれに群がるスズキの群れを目撃

その後アカエイはスズキの群れを引き連れて上流へ泳いでいきました。不思議な現象でした。

④ 12/8(日) 侍従川中流域でイシガメを捕獲 (小野田・深沢採集)

絶滅危惧種のカメですが、今まで侍従川では目撃されていないので人為的に放されたものだと考えられます。



# 侍従川定例調査報告 学生部

## 【クワガタ・カブト調査】

7月6日、夜7時半から学生部でクワガタ・カブトムシ調査をおこないました。

今回の調査ポイントは侍従川流域の森であるお伊勢山と大道中学校裏山です。

調査ではカブトムシ、ノコギリクワガタ、コクワガタを確認しました。

また、後日再び調査をおこなったところ、ヒラタクワガタの死体も確認されました。侍従川流域の森はクワガタ・カブトが多く特にコクワガタとノコギリクワガタは多いと思われます。

子どもたちにも好評だったのでまた来年も調査を実施しようと思っています。



## ☆侍従川流域で記録のあるクワガタ・カブトムシ☆

- ・コクワガタ：侍従川流域では最も普通に見られるクワガタです。小さな林でも発生しています。
- ・スジクワガタ：侍従川流域では珍しい小さなクワガタです。7月から8月頃樹液を吸いに来ているところを見つけれることがあります。
- ・ヒラタクワガタ：神奈川県絶滅危惧種になっている大型のクワガタです。侍従川流域では過去に6cmを超えるものも採集された記録があります。
- ・ノコギリクワガタ：侍従川流域ではコクワガタの次に普通に見られるクワガタです。7月頃にコナラやクヌギ、クリの木などで多く見られます。
- ・ミヤマクワガタ：侍従川流域では極めて珍しいクワガタです。流域では6月から7月と早い時期に出現し8月に入ると姿を消してしまいます。2013年は朝比奈町で6mを超える大型のミヤマクワガタが見つかりました。
- ・カブトムシ：侍従川流域の雑木林で多く見られます。また朝比奈小学校の腐葉土では毎年たくさんの幼虫が見られます。
- ・コカブトムシ：侍従川流域では珍しいツノのない小さなカブトムシです。朝比奈町やお伊勢山で稀に見つかります。

10月27日(日) 晴れ 参加人数：8名

【朝比奈町侍従川本流の源流(金の橋から川におりて調査開始)】

生き物：スミウキゴリ8、シマヨシノボリ3、ミナミテナガエビ3、ヌマエビ6、アサヒナカワトンボ幼虫4、ミルンヤンマ幼虫1、コシボソヤンマ幼虫5、オニヤンマ幼虫1、ダビドサナエ幼虫3、モンキマメゲンゴロウ3、ヤマトクロスジヘビトンボ幼虫3、フタスジモンカゲロウ幼虫1、カワニナ3、サワガニ1、ミズムシ多数



備考：源流調査は久しぶりでした。新たにミナミテナガエビが多く進出していました。また、以前は少なかったダビドサナエやシマヨシノボリが比較的多く見られました。

【長島橋～大道橋でクリーンアップ中に採れた生物の記録】

生き物：チチブ、ウキゴリ、スミウキゴリ、マハゼ、シマヨシノボリ、ボラ、メダカ、テナガエビ、ミゾレヌマエビ、アサヒナカワトンボ幼虫、ヤマサナエ幼虫、ナツアカネ(20年ぶりの再発見)



備考：中流では少ないスミウキゴリが多数採集されました。普段源流・上流に生息するスミウキゴリですが、台風の影響で流されてきたと考えられます。また、約20年ぶりにナツアカネが1匹だけ採集されました。侍従川流域には生息地がないので、台風によって飛ばされてきたと考えられます。

## 事務局だより

事務局運営委員 長橋 輝明

### ◆1月～3月の活動予定◆

☆定例クリーンアップ 1/26(日)、2/23(日)、3/23(日)

9時～12時 ちとせ園集合 ※雨天延期…翌週日曜

☆1/11(土) ネイチャークラフト教室

9:00～15:00 大道小学校集合

☆第28回横浜の水辺と緑を考える子ども会議の  
詳細は決まり次第連絡します。

●学生部の活動は別途お知らせします。

《編集後記》 だぼはぜ通信の編集に携わるようになって、ちょうど6年経ちました。来年も引き続きよろしく願います。(MK)

◎活動の詳細(集合時間・場所、持ち物など)は、ホームページをご覧ください。

<http://ji-jyukai.web.fc2.com/>

ふるさと侍従川に親しむ会 事務局

金沢区六浦5-23-26

長橋 輝明

TEL&FAX : 781-4042

e-mail : jr-nagahashi@seapple.icc.ne.jp